

1.改善したほうがよいと思った科目名と理由

所属	科目名	理由	回答作成の依頼先	回答
地域文化研究科	社会言語学	学生が準備して発表したものに対して、訂正すること以上に、批判したり、発表者への当たりが強かったりと、やる気を削がれる発言が多い点。また、授業の流れも、みんなが共通で持っている資料を読み合わせるだけのことが多い。発表形態についても決めるべきだと思う。	地域文化研究科 (英米言語文化専攻)	学部とは異なり、大学院では専門知識の共有ならびに深いディスカッションが講義の中心となります。様々な文化・年齢・背景・経験を持つ学生たちが、各々の意見をぶつけ合い、担当教員が舵を取りながら講義を進める中、担当教員からのアドバイスや指摘は議論を正しい方向へ導くために大切なものとなります。また、ディスカッションから得た知識や経験は、学会発表だけではなく、将来社会に出てからも役立つ有効なスキルになると思います。専門知識を持つ担当教員からの指摘やアドバイスの捉え方、認識の仕方を今一度ご理解いただきたいと思います。
地域文化研究科	社会心理学特論	修士論文の研究計画の見直し、研究の進め方について	地域文化研究科 (人間福祉専攻)	ご意見の趣旨がはっきりしないところがありますが、特殊研究以外の科目でも、科目の趣旨を踏まえつつ、受講生の研究課題や研究方法について適切な助言を行うことは基本的には修士論文作成に資するものであることから、科目担当教員と修士論文指導教員の連携を図りつつ、ひきつづき適切な助言・指導が行われるよう努めます。
地域産業研究科	産業組織特論	特にないです。	-	
地域文化研究科	社会言語学	自分が発表をする時は、1ヶ月かけて資料も作ってみんなに分かりやすいように工夫したが、先生に酷い言われ方をして、辛かった。後で、他の皆が慰めてくれた。私以外にも、何人かの学生が、同じように理不尽な扱いを受けていて、可哀想だった。先生の機嫌が悪かったのか、理由はよく分からないが、毎回、気を遣う授業だった。	地域文化研究科 (英米言語文化専攻)	学部とは異なり、大学院では専門知識の共有ならびに深いディスカッションが講義の中心となります。様々な文化・年齢・背景・経験を持つ学生たちが、各々の意見をぶつけ合い、担当教員が舵を取りながら講義を進める中、担当教員からのアドバイスや指摘は議論を正しい方向へ導くために大切なものとなります。また、ディスカッションから得た知識や経験は、学会発表だけではなく、将来社会に出てからも役立つ有効なスキルになると思います。専門知識を持つ担当教員からの指摘やアドバイスの捉え方、認識の仕方を今一度ご理解いただきたいと思います。

2. 現在の指導体制／環境に満足していない理由

所属	ご意見・ご要望	回答作成の依頼先	回答
地域産業研究科	環境として、図書館や研究室の開館時間が短い&休業が多く不便である（特に図書館）特に図書館は依然23:30迄空いており非常に集中できてよかったが、今は平日は20:30、土日は18時頃に閉まる。社会人として働きながら通っている身としては、夜間や休日に集中的に研究作業を詰め込み実施したい。泊まり込みを希望したいくらい。図書館の開館時間を長くすることを強く希望したいです。	図書館	
地域文化研究科	長期履修を行っており、昨年で全ての科目を履修しているため、今年度はゼミやケースカンファレンスのみ参加しております。	-	

3.指導体制、方法、環境に関するご意見やご要望

所属	ご意見・ご要望	回答作成の依頼先	回答
地域文化研究科	入学後のオリエンテーション時に決まった指導教員がそのまま今の指導教員になり、苦しそうな人もみえたので、指導教員を決定するシステムの改善が必要だと思います。	地域文化研究科 (研究科長)	指導教員は大学院生に対する「研究及び論文の指導」をおこなうために置かれています。地域文化研究科では6月に提出された「指導教員届」を研究科会で承認しています。いうまでもなく修士論文の指導は第1セメスターから計画的に実施していることから、指導教員の変更は「原則として認められない」となっています。これらは、いずれも「履修規程」によって定められています。指導教員の選出方法は専攻・領域によって異なりますので、一概には言えませんが、「研究及び論文の指導」をおこなうためには、修士論文の研究計画に基づき、より専門分野の近い教員によって担当されることが望ましいことは言うまでもありません。しかし、場合によっては「研究及び論文の指導」に支障を来す場合があり得ることも理解できます。まずは、指導教員を決定するにあたって、専攻主任や同じ領域の教員に十分に相談することが肝要だと思いますが、何らかの問題が発生した場合は、領域の責任者あるいは専攻主任に相談するようにしてください。
地域文化研究科	入学時のオリエンテーションにおいて、しっかりと説明頂いたのである程度は理解できていた。院生によって個性がでてくるので、臨機応変に合わせる方がよいと感じる。	地域文化研究科 (研究科長)	ご意見の趣旨、とくに「院生による個性」が何を意味されているのか不明ですが、単位の修得や研究活動の進め方等については、指導教員に十分相談してください。
地域産業研究科	現在の指導教員とは学部時代、接点がほとんどなく研究に関する情報の収集に大変苦労した。学生と教員との齟齬を減らすためにも入学前に面談やオリエンテーションといった交流の機会を増やすべきだと思う。	地域産業研究科	
地域文化研究科	殆どの先生方は、学生の意見を聞いて、一緒に考えていく姿勢を持っていらっしゃるが、中にはそうではない先生がいる。	地域文化研究科 (研究科長)	このようなご指摘を受けることのないよう、研究科所属教員のすべてが、大学院生に誠意をもって教育・指導にあたるよう、改めて周知いたします。

4.大学院の施設・設備満足していない理由

所属	ご意見・ご要望	回答作成の依頼先	回答
地域産業研究科	図書館や研究室の開館時間が短すぎる&休館日が多すぎる。（特に図書館）	図書館 学務課（研究室）	
地域文化研究科	CiNiiなど閲覧できない論文が多い	図書館	
地域産業研究科	大学院生に対する大学側の配慮が足りないように感じる。	-	
地域文化研究科	コロナの影響で使節使用の制限が厳しすぎたこと	学務課（研究室）	

5.その他、大学院の施設・設備に関するご意見やご要望

所属	ご意見・ご要望	回答作成の依頼先	回答
地域産業研究科	図書館の開館時間をもっと伸ばしてほしい	図書館	
地域文化研究科	図書館の開館時間をコロナ前に戻してほしい。13号館にも充電GO!を置いてほしい。	図書館 総合企画室（充電GO）	
地域文化研究科	もう少し遅い時間まで研究室や図書館、資料室を開けていただけると助かります。7限後に学習しようと思うと、図書館が閉まっていたり、研究室や資料室がすぐに閉まってしまったりするので。	図書館 学務課（研究室）	

2022年度大学院教育研究の向上に関するアンケート記述欄への回答作成の依頼先一覧

地域文化研究科	7号館1階相談室の実験準備室にあるPCについて、普段ケースの記録等で使用することが多いのですが、老朽化のため使用困難になる時があるので、可能であれば新しいPCに変えてほしいです。また、7号館1階と13号館6階の電波が悪く、Wi-Fiのみだと通話できない場合があるので、ネット環境の改善を希望します。	情報センター	
地域産業研究科	・論文提出1週間前だけでもいいので自習室を24時間開放してほしい。この2年間、コロナ対策、入試、大学祭など入構禁止が多かったなかで論文執筆に大変苦労した。 ・大学院用のパソコン、プリンターを買い替えてほしい。論文提出時にもプリンターが1台故障しており印刷時に混雑していた。	管財課（施設管理） 学務課（研究室） 情報センター	
地域文化研究科	大学院の棟の6階を使える日が多くて、助かっています。	-	

2022年度大学院教育研究の向上に関するアンケート記述欄への回答作成の依頼先一覧

6.その他、ご意見やご要望（時間数、科目の種類など）

所属	ご意見・ご要望	回答作成の依頼先	回答
地域文化研究科	社会人も学生になれることが魅力だと思いますが、時間割の設定が早い時間が多い。時間の変更をしてもらえなかった話も聞いたので、先生方が授業を設置しているのであれば、時間をずらせる準備もしておくべきだと思う。	地域文化研究科 (研究科長)	地域文化研究科では、できる限り6・7限に講義を開講するように努めていますが、同一専攻・領域内の時間重複の回避、教員が担当する学内外の業務との関係等の事情により、4・5限に開講する場合もあります。次年度時間割編成に際してはこうした意見を考慮させていただきますが、ご要望に完全にお答えいたしかねる場合もあり得ますことはご理解ください。
地域文化研究科	院生同士の交流が増えればよいと感じた。コロナ禍によりオンラインや接触回避が主であり、この時代は仕方ないと思う。	地域文化研究科 (研究科長)	この3年間は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、学内施設の利用制限や大学院関係行事の開催方法の変更等を行わざるを得ず、院生間の交流の機会が制約されてしまいました。今年度は修論中間報告や最終報告等も対面開催を予定していますし、自習室の利用にも現在は制限がかかっていませんので、さまざまな機会を捉えて、領域や専攻を超えた交流が深まることを期待しています。
地域産業研究科	本学は、大学院後期（博士）課程はつくらないのですか？ 沖縄県には琉大しかなくまた専門も限られており進学希望者は県外を選ぶしかない。地理的にも機会的にも非常にコストがかかり諦める人も多いと思う。大学院は赤字経営だと聞いていますが、それでも沖縄県の将来的な人財育成の為、是非沖縄国際大学には期待したいです！	地域産業研究科 総合企画室（博士課程の設置認可）	
地域文化研究科	今年度後期、福祉の科目が少なかった。他専攻の授業を取り、専門外の勉強だったため、難しく課題に追われ、修論執筆に少し影響が出た。	地域文化研究科 (人間福祉専攻)	2022年度は専任教員の学外研究などにより社会福祉学領域の選択科目の開講科目数に多少の影響があったことを踏まえ、2023年度は「障害と支援・ケア特論Ⅰ」「障害と支援・ケア特論Ⅱ」を開講するなど、領域としては可能な限り多くの選択科目の開講に努めています。また、専攻内の臨床心理学領域の科目や他専攻の科目にも社会福祉学領域の院生にとって有意義な学びが得られる科目はいくつもありますが、そういった点も含め、今後も専攻主任・領域主任によるきめ細やかな履修相談に努めたいと考えます。
地域文化研究科	可能であればもう少し時間割の配分を偏りなく分けてほしい。 13号館6階の開室時間を24時間開放にしてほしい。	地域文化研究科 (研究科長)	時間割編成に際しては、少なくとも専攻内の同一領域において重複がないよう努めたいと思います。
地域産業研究科	修士論文の製本版を修了生用にも作成・配布してほしい。記念として手元に残しておきたい。希望制で料金を徴収してもいいので。	学務課	
地域文化研究科	仕事をしながらなので、先生方や他の学生の方々が、授業の時間の變更に柔軟に対応して下さって、とても助かりました。何人かの先生は、時間の移動が出来ないとのことで、取りたい授業が取れませんでした。それは仕方が無いと思いました。	地域文化研究科 (研究科長)	時間割の配置に関して、ご理解をいただきありがとうございます。少なくとも、専攻内の同一領域においては時間割の重複がないよう努めたいと思います。